

タイピング練習③ 英文の日本語訳の違い ～アウトライン機能を使う～

1 A MIDSUMMER NIGHT'S DREAM

夏の夜の夢

1.1 If we shadows have offended,

Think but this, and all is mended:

1.1.1 わたくしどもはただの影法師にござりますれば、

もしもこのお芝居お気に召さぬとあれば、それ、

1.1.2 影にすぎない我らの舞台、
お気に召さずば、こう思つて頂きたい。

1.1.3 われら役者は影法師、
皆様がたのお目も

1.2 That you have but slumbered here

While these visions did appear.

1.2.1 皆さまにはここにてしばしまどろまれたと思召せ、
すべては束の間の幻にてござりますれば。

1.2.2 皆様、ここで眠つたのだと。
おかしい夢を見たのだと。

1.2.3 お気に召さずばただ夢を
見たと思つてお許しを。

1.3 And this weak and idle theme,

No more yielding but a dream,

1.3.1 まことにははななくも頼りなきこの芝居、
夢の夢なる一場の夢芝居、なにとぞ

1.3.2 取るに足らない、つまらぬ話、
夢のように、たわいもなし。

1.3.3 つたない芝居ではありますが、
夢にすぎないものですが、

1.4 Gentles, do not reprehend;

If you pardon, we will mend.

1.4.1 夢幻とお笑い下さりお見逃しを
いただけますれば一同ありがたく存じます。

1.4.2 どうか皆様、お赦しを
頂けますれば、喜び、ひとしお。

1.4.3 皆様がたが大目に見、
おとがめなくば身のはげみ。

1.5 And, as I'm an honest Puck,

If we have unearnèd luck

1.5.1 わたくしめも正直者のパック、
このたびのご好意をば身に余るしあわせと心得、

1.5.2 おいらパックは正直者。
野次や批判は嫌なもの。

1.5.3 私パックは正直者、
さいわいにして皆様の

1.6 Now to 'scape the serpent's tongue,

We will make amends ere long,

1.6.1 一座一同必ずや精進一途、ご贔屓さまのお叱りを
頂戴するなどゆめあるまじく、このお約束を。

1.6.2 お叱りなくば、こりや幸せ、
いずれしますよ、埋め合わせ。

1.6.3 お叱りなくば私も
はげみますゆえ、皆様も

1.7 Else the Puck a liar call.

So, good night unto you all.

1.7.1 違えましようならこの身はまさしく嘘八百のパック。
それでは皆さま、ごきげんよろしゅう、

1.7.2 しなきや、嘘つきとおよびください。
それでは、皆様、おやすみなさい。

1.7.3 見ていてやってくださいまし。
それでは、おやすみなさいまし。

1.8 Give me your hands if we be friends,

And Robin shall reastore amends.

1.8.1 なにとぞ今後の精進をご期待下さり、ささ、
隅から隅までずいずいとお手を拝借、拝借。

1.8.2 ご厚意あらば、拍手をどうぞ。
そしたらロビンはお礼を言うぞ。

1.8.3 皆様、お手を願います、
パックがお礼を申します。

※入力モードは、英数キーか半角/全角キーで切り替える。

※2行で1段落になっているので、1行目の最後は

Shift+Enter キー、2行目の最後は Enter キーで改行する

※レベル下げは Tab キー、レベル上げは Shift+Tab キー

■ 翻訳者

1 大場建治 2 河合祥一郎 (韻を踏んでいる)

3 小田島雄志 (七五調で韻を踏んでいる)

■ アウトラインの設定

レベル1, 2 左インデント 0mm インデント位置 7mm

レベル3 左インデント 1字 インデント位置 3.5字

■ 知っておきたい基本知識

<http://shakespeare-w.com/japanese/shakespeare/terms.html>

#poem

couplet 二行連句, 対句, カプレット

2 HAMLET[3.1]

ハムレット(三幕一場)

2.1 To be, or not to be, that is the question;

2.1.1 存在することの是非、それが問題として突きつけられている。

2.1.2 このままでいいのか、いけないのか、それが問題だ。

2.1.3 生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ。

2.2 Whether 'tis nobler in the mind to suffer

2.2.1 どちらが高潔な人間か、狂暴な運命の

2.2.2 どちらが立派な生き方か、このまま心のうちに

2.2.3 どちらが気高い心にふさわしいのか。

2.3 The slings and arrows of outrageous fortune,

2.3.1 矢玉を心中じっと堪え忍んで生き続けるのと、

2.3.2 暴虐な運命の矢弾をじっと耐え忍ぶことか、

2.3.3 非道な運命の矢弾をじっと耐え忍ぶか、

2.4 Or to take arms against a sea of troubles,

2.4.1 打ち寄せる困難の海に敢然武器を取って

2.4.2 それとも寄せくる怒濤の苦難に敢然と立ちむかい、

2.4.3 それとも怒濤の苦難に斬りかかり、

2.5 And by opposing end them.

2.5.1 立ち上がって一切の決着をつけるのと。

2.5.2 闘ってそれに終止符をうつことか。死ぬ、眠る、

2.5.3 戦って相果てるか。

2.6 No more; and by a sleep to say we end

2.6.1 それだけのことだ。それで、眠ることで、心の痛みも、

2.6.2 それだけだ。眠ることによって終止符は打てる、

2.6.3 それだけだ。眠りによって、心の痛みも、

2.7 The heart-ache and the thousand natural shocks

2.7.1 肉なる者の宿命であるもろもろの苦しみも、すべてに

2.7.2 心の悩みにも、肉体につきまとう

2.7.3 肉体が抱える数限りない苦しみも

2.8 That flesh is heir to, 'tis a consummation

2.8.1 終止符を打つことができるのだとしたら、それこそは望みうる

2.8.2 かずかずの苦しみにも。それこそ願ってもない

2.8.3 終わりを告げる。それこそ願ってもない

2.9 Devoutly to be wished. To die, to sleep;

2.9.1 最高の大団円ではないか。死ぬ、眠る、

2.9.2 終わりではないか。死ぬ、眠る、

2.9.3 最上の結末だ。死ぬ、眠る。

2.10 To sleep, perchance to dream. Ay, there's the rub;

2.10.1 待てよ、眠れば夢を見るかもしれぬ。そうか、そこでつかえるのか。

2.10.2 眠る、おそらくは夢を見る。そこだ、つまずくのは。

2.10.3 眠る、おそらくは夢を見る——そう、そこでひっかかる。

2.11 For in that sleep of death what dreams may come

2.11.1 人間界のわずらわしい桎梏をきっぱり解き放ったあと

2.11.2 この世のわずらいからかろうじてのがれ、

2.11.3 一体、死という眠りの中でどんな夢を見るのか？

2.12 When we have shuffled off this mortal coil,

2.12.1 死の眠りの中でどんな夢を見るか、そこでだれしも

2.12.2 永の眠りにつき、そこでどんな夢を見る？

2.12.3 ようやく人生のしがらみを振り切ったというのに？

2.13 Must give us pause. There's the respect

2.13.1 立ち止まってしまうのか。そうでもなければ、だれが

2.13.2 それがあるからためらうのだ、それを思うから

2.13.3 だから、ためらう——そして、苦しい人生を

2.14 That makes calamity of so long life,

2.14.1 これほどまでに長びかせることがある、人生という災難を、

2.14.2 苦しい人生をいつまでも長びかすのだ。

2.14.3 おめおめと生き延びてしまうのだ。さもないければ、

2.15 For who would bear the whips and scorns of time,

2.15.1 だれがいつまでも耐え続けることがある、時代の鞭と嘲りを、

2.15.2 でなければだれかががまんするか、世間の鞭うつ非難、

2.15.3 誰が我慢するものか、世間の非難中傷、

2.16 The oppressor's wrong, the proud man's contumely,

2.16.1 権力者の不正を、傲慢の徒の無礼を、

2.16.2 権力者の無法な行為、おごるものの侮蔑、

2.16.3 権力者の不正、高慢な輩の無礼、

2.17 The pangs of disprized love, the law's delay,

2.17.1 さげすまれた恋の痛みを、裁判の遅延を、

2.17.2 さげすまれた恋の痛み、裁判のひきのばし、

2.17.3 失恋の痛手、長引く裁判、

2.18 The insolence of office, and the spurns

2.18.1 役人どもの尊大な態度を、真に価値ある人がひたすら隠忍、

2.18.2 役人どもの横柄さ、りっぱな人物がくだらぬやつ相手にじっとしのぶ屈辱、

2.18.3 役人の横柄、優れた人物が耐え忍ぶくだらぬ奴らの言いたい放題、

2.19 That patient merit of the unworthy takes,

2.19.1 自重して下劣な徒輩の足蹴を甘受するのはいったいなぜだ、

2.19.2 このような^{おもに}重荷をだれががまんするか、この世から
2.19.3 そんなものに耐えずとも、
2.20 When he himself might his quietus make
2.20.1 裸^{はだか}の^{ぬき}拔身^みの一閃^{いつせん}で^{やす}安らぎの^{そうけつさん}総決算が
2.20.2 短剣^{たんけん}の^{ひとつ}ただ一突きでのがれることが
2.20.3 短剣^{たんけん}の一突きで
2.21 With a bare bodkin? Who would fardels bear,
2.21.1 できるというのに、いったいだれが^{じんせい}人生の^{おもに}重荷を
背負^{せお}って、
2.21.2 できるのに。つらい^{じんせい}人生を
2.21.3 人生^{じんせい}にけりをつけられるというのに？ 誰^{だれ}が^{ふまん}不満を
抱^{かか}え、
2.22 To grunt and sweat under a weary life,
2.22.1 うめき^{あせ}汗^{あせ}して^{たび}旅^{つづ}を^{つづ}続けていくことがある、
2.22.2 うめきながら^{あせみずなが}汗水^{あゆ}流^{あゆ}して^{あゆ}歩むのも、
2.22.3 汗水^{あせみず}たらして、つらい^{じんせい}人生という^{おもに}重荷に^た耐えるものか、
2.23 But that the dread of something after death,
2.23.1 それもこれもただただ^{しご}死後^{おそ}への^{せかい}怖れ、その世界はと
いえば、
2.23.2 ただ^{しご}死後^{おそ}にくるものを^{おそ}恐れるためだ。
2.23.3 死後^{しご}の世界^{せかい}の^{きょうふ}恐怖^{おそ}さえなければ。
2.24 The undiscovered country, from whose bourne
2.24.1 旅人^{たびびと}の^{かえ}帰らざる^{ひがん}彼岸の
2.24.2 死後^{しご}の世界^{せかい}は^み未知^ちの^{くに}国だ、
2.24.3 行けば^い帰らぬ^{かえ}人^{ひと}となる
2.25 No traveler returns, puzzles the will
2.25.1 未知^{みち}の^{くに}国、だれしもがそこで^{おも}思^{おも}い^{わづら}煩^{わづら}い、
2.25.2 旅立^{たびだ}ったものは一人^{ひとり}としてもどつたためしが無い。そ
れで^{けっしん}決心^{けっしん}がにぶるのだ、
2.25.3 黄泉^{よみ}の^{くに}国——それを^{おそ}恐^{おそ}れて、^{いし}意思^{いし}は^{ゆるぎ}ゆらぎ、
2.26 And makes us rather bear those ills we have,
2.26.1 この世で^よ慣^なれ^{した}親^{くなん}しんだ^{にんたい}苦難^{ほう}の^{えら}忍耐^{えら}の方^とを選び^と取^とって
しまう、
2.26.2 見^みし^し知らぬ^よあの世の^{くろう}苦勞^とに^こ飛^とび^こ込^こむよりは、
2.26.3 想像^{そうぞう}もつかぬ^{くる}苦しみ^みに^{まか}身を^{まか}任^{まか}せるよりは、
2.27 Than fly to others that we know not of?
2.27.1 得^{えたい}体の^し知^しれぬ^{たこく}他国^{くなん}の^{なか}苦難^との中^とに^こ飛^とび^こ込^こむよりも。

2.27.2 慣^なれたこの世の^よわづらいを^{がまん}我慢^{おも}しようと思^{おも}うのだ。
2.27.3 今の^{いま}苦しみ^{くる}に^た耐^たえる^{おも}ほう^{おも}が^{おも}ましだと思^{おも}ってしま^{おも}う。
2.28 Thus conscience does make cowards of us all,
2.28.1 こうした^{きょうだ}思^{おも}いが^{きょうだ}われわれ^{きょうだ}すべてを^{きょうだ}怯懦^{きょうだ}に^{きょうだ}仕立^{きょうだ}てる、
2.28.2 このよう^{おも}にも^{おも}の^{おも}思^{おも}う^{おも}心^{おも}が^{おも}われわれ^{おも}を^{おも}臆病^{おくびょう}にする、
2.28.3 こうして、^{もの}物^{おも}思^{おも}う^{おも}心^{おも}は、^{こころ}我^{われ}々^{われ}を^{われ}みな^{われ}臆病^{おくびょう}にし^{おくびょう}てしま^{おくびょう}う。
2.29 And thus the native hue of resolution
2.29.1 決意^{けつい}本^{ほん}来^{らい}の^ち血^{いろ}の^{もの}色^{おも}が^{おも}物^{おも}思^{おも}い^{おも}の
2.29.2 このよう^{おも}に^{おも}決意^{けつい}の^{おも}も^{こころ}って^{こころ}生^うまれ^うた^{いろ}血^{いろ}の^{いろ}色^{いろ}が
2.29.3 こうして、^{けつい}決意^{けつい}本^{ほん}来^{らい}の^{いろ}色^{いろ}合^あいは、
2.30 Is sicklied o' re with the pale cast of thought,
2.30.1 蒼白^{そうはく}な^{やまい}病^{いろ}い^{おほ}の^{おほ}色^{おほ}に^{おほ}覆^{おほ}われてしま^{おほ}う。
2.30.2 分別^{ふんべつ}の^や病^{あや}み^{あや}蒼^{あや}ざめた^{あや}塗料^{とりよう}に^{とりよう}ぬり^{とりよう}つ^{とりよう}ぶ^{とりよう}さ^{とりよう}れる、
2.30.3 蒼^{あや}ざめた^{あや}思^し考^{こう}の^{いろ}色^{いろ}に^そ染^そまり、
2.31 And enterprises of great pith and moment
2.31.1 乾坤^{けんこん}一^{いつ}擲^{てき}の^{だいじぎょう}大事業^{とこみち}が^{とこみち}つ^{とこみち}い^{とこみち}横道^{よこみち}に^{よこみち}そ^{よこみち}れて
2.31.2 そして、^{せいし}生^{せいし}死^{せいし}に^{せいし}か^{せいし}か^{せいし}わ^{せいし}る^{せいし}ほ^{せいし}ど^{せいし}の^{だいじぎょう}大事業^{だいじぎょう}も
2.31.3 崇高^{すうこう}で^い偉大^いなる^{くわだ}企^{くわだ}ても、
2.32 With this regard their currents turn awry,
2.32.1 行^{こう}動^{どう}の^な名^{うしな}を^{うしな}失^{うしな}て^{うしな}しま^{うしな}う^{うしな}のも
2.32.2 そのた^{みち}め^{みち}に^{みち}いつ^{みち}しか^{みち}進^{すす}む^{すす}べ^{すす}き^{すす}道^{みち}を^{みち}失^{うしな}い、
2.32.3 色^{いろ}褪^あせて、^{なが}流^{なが}れ^{なが}が^{なが}そ^{なが}れて、
2.33 And lose the name of action. Soft you now,
2.33.1 つま^まり^まは^まこ^まの^また^まめ^まな^まのだ。ま、^ま待^まて、
2.33.2 行^{こう}動^{どう}を^おこ^おす^おに^おいた^おら^おず^お終^おわ^おる^お——^ま待^まて、
2.33.3 行^{こう}動^{どう}と^ない^なま^なを^{うしな}失^{うしな}う^{うしな}のだ。だ^まが、^ま待^まて。
2.34 The fair Ophelia? —Nymphy, in thy orisons
2.34.1 あ^{もり}れ^{めがみ}は^{めがみ}オ^{めがみ}フ^{めがみ}イー^{めがみ}リア^{めがみ}か？——^{いの}森^{いの}の^{いの}女^{いの}神^{いの}、^{いの}あ^{いの}な^{いの}た^{いの}の^{いの}祈^{いの}り^{いの}の^{いの}中^{いの}に^{いの}
2.34.2 美^{うつく}しい^{うつく}オ^{うつく}フ^{うつく}イー^{うつく}リア^{うつく}だ。お^{もり}お、^{もり}森^{もり}の^{もり}妖^{よう}精^{せい}、^{いの}そ^{いの}の^{いの}祈^{いの}り^{いの}の^{いの}中^{いの}に^{いの}
2.34.3 美^{うつく}しい^{うつく}オ^{うつく}フ^{うつく}イー^{うつく}リア^{うつく}！ 妖^{よう}精^{せい}よ、^{きみ}君^{きみ}の^{いの}祈^{いの}り^{いの}に^{いの}
2.35 Be all my sins remembered.
2.35.1 この^み身^みの^{つみ}罪^{ゆる}の^{ゆる}許^{ゆる}しも。
2.35.2 この^み身^みの^{つみ}罪^{ゆる}の^{ゆる}許^{ゆる}しも。
2.35.3 我^わが^わ罪^{つみ}の^{ゆる}赦^{ゆる}しも^{くわ}加^{くわ}えて^{くわ}て^{くわ}くれ。

参考 他の翻訳者の訳

福田恒存

- 1.1.1 夜の住人、私どもの、とんだり、はねたり、
もしも皆様、お気に召さぬとあらば、こう思し召せ、
- 1.1.2 ちよいと夏の夜のうたたねに垣間みた夢幻にすぎないと。
それならお腹も立ちますまい。
- 1.1.3 この狂言、まことにもって、とりとめなしの、
夢にもひとしき物語、